

令和2年3月30日

所沢市医師会 会員の皆様へ

感染症担当理事  
赤津

新型コロナウイルス感染症対応について（第11報）

米国ジョンズ・ホプキンス大の集計によると、新型コロナウイルス感染症による死者が28日、世界全体で3万人を超えたそうです。20日に1万人、25日に2万人を上回ったばかりですので、あっという間の出来事と言えます。感染者は65万人を超したそうです（共同通信社）。連日の報道の通り、本邦でも東京都での発生が増えており、緊急事態宣言は目前の状態です。

各地では病院、医院、福祉施設発のクラスター形成が報告されていますが、衛生資機材の入荷がほぼ止まっている状況ですので、どの医療機関も困難な対応となっていると推察します。マスクに止まらず、医療用ガーゼ、プラスチック手袋も品薄になっています。今後の患者急増に備えた準備を医師会全体で進める必要性が高まっています。

会員の皆様の御協力による休日当番医の情報共有はホームページ会員欄にアップされていますが、今のところ発熱患者の急増はありません。引き続き御協力お願い申し上げます。

今週に把握した情報並びにアンケートのお願いを以下に記載致します。尚、情報を早く確認したい場合は、所沢市医師会ホームページ新型コロナウイルス関連のリンク（内閣府、日本医師会他のリンクがあります）をご参照下さい。内閣府の専門家会議の内容が最もまとまっているようです。

記

1. 埼玉県における新型コロナウイルス感染症の県内の発生状況について

(<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/covid19/jokyo.html>)

先週の文書発簡時点では所沢市での患者はいませんでした。すでにご報告申し上げましたように3月23日夜に第1例目が報告されました。その後、奥様も罹患され2例目となりました。埼玉県内の症例についての報告は、3月22日21時点では54例（3月14日は32例）でしたが、3月28日午後8時10分の発表では82名となっています。先週からの近隣での発症は狭山市、川越市で報告がありました。川越市の方は所沢市の日本光電職員ですので詳細を示します。県のホームページではNo. 71の患者となります。

No. 71 川越保健所発 3月27日患者概要

1. 年代:60歳代	2. 性別:男性	3. 国籍:日本	4. 居住地:川越市
5. 職業:会社員(事務職・所沢市内の日本光電工業株式会社 所沢事業所勤務)			
6. 症状・経過 3月24日:出勤、帰宅時に悪寒あり、体温38.0度 3月25日:朝体温39.5度、出勤せず、市内A医療機関受診(マスク着用) 3月26日:体温38.9度、市内A医療機関受診(マスク着用) 3月27日:PCR結果、陽性判明			
7. 渡航歴・患者との接触歴: なし	8. 現在の症状:入院調整中。状態は安定している。	9. 濃厚接触者:家族3名症状なし。職場は調査中。	10. その他:通勤は、西武新宿線南大塚駅～所沢駅利用。

## 2. 国立病院機構東京病院から各医療機関宛ての連絡

(<https://tokyo-hp.hosp.go.jp/renkei/iryoukankei/covid19/hospital.html>)

新型コロナウイルス感染症の疑い患者を東京病院に紹介する場合の様式についてホームページに記載あり。原文は以下の通りです。京谷会長が東京病院呼吸器に確認したところでは、新型コロナウイルス感染症でないことを確認するための文書であり、新型コロナウイルス感染症疑いの場合は都内の他の医療機関を紹介されるとのことでした。残念。

各医療機関の皆様へ

新型コロナウイルス感染症の疑い患者を当院にご紹介頂く際は、「東京病院新型コロナウイルス感染症関連紹介患者診療情報提供書」の各項目をご確認いただき、事前に、通常の紹介状と併せて当該診療情報提供書を FAX でお送りくださいますようお願いいたします。

この情報に基づき、当院の担当医が受診方法を判断し、あらためて貴院にご連絡いたします。

東京病院新型コロナウイルス感染症関連紹介患者診療情報提供書

([https://tokyo-hp.hosp.go.jp/renkei/iryoukankei/covid19/covid19\\_format.pdf](https://tokyo-hp.hosp.go.jp/renkei/iryoukankei/covid19/covid19_format.pdf))

問合せ・FAX 送信先

東京病院 地域医療連携室

電話：042-491-2934

FAX：042-491-2125

## 3. 先般の新型コロナウイルス感染症患者が増えた場合の対応のアンケート調査結果についての概要（回収率は20%程度でした）。

現状では、感染患者が増えた場合にはどの医療機関も対応ができないとの意見でした。医療機関ごとの個別対応には限界がありますので、地域の医療機関全体を挙げての対応が急務であることがわかりました。

### (1) 外来受入について

多くの医院、クリニックではその構造上、あるいは感染防護策上、十分な体制が取れるところは皆無であり、現状では各クリニックで受け入れることは無理である。

### (2) 衛生資機材の欠乏状況

大丈夫なところでも今後1-2か月で備蓄は尽きる状態であり、今後の補給がない場合は医療者の感染リスクは各段に上昇することになる。感染した場合は当然、外来は休診となるのでコロナ以外の患者への影響も拡大する。

### (3) 外来診療を行わない医療機関やコロナを受け入れることができる医療機関の考え方

返答頂いた病院（一般病院、精神科病院、療養型病院）全てに免疫能の弱い高齢者がたくさん入院している。コロナを積極的に受け入れた場合、院内感染により感染コントロールができなくなることが容易に想像できるので、一般診療をしながらのコロナ受け入れは困難。さらに、それぞれの施設には十分な衛生資機材の準備はないので感染対応は無理、感染症対応の専門家の不在、職員の不慣れも課題。

### (4) 拠点、重症者を受け入れる病院の指定について

行政から早急に決定して頂ければ良いと思う。防衛医大は感染症指定医療機関であり、受け入れはしているが現状では少数に留まる。たくさん発生した場合は公的医療機関が受け入れを担って頂きたいところであるが行政からの指示は不明（例えば、防衛医大、国立西埼玉中央病院、所沢市民医療センター）。

#### 4. 休日当番医における発熱、呼吸器症状患者の共有について（現時点）

休日当番医の先生方の御協力により、所沢市医師会ホームページ会員欄に情報が掲載されています。これまでのところ、発熱患者の急増はないようです。隣接の東京都では患者増加が続いていますので、東京都へ通勤、通学している市民からの感染事例の発生が危惧される状態です。

#### 5. 東京都医師会の考え方

小野田理事から東京都医師会の考え方を教えて頂きました。以下の通りです。内容は今後患者が増えることが予想される東京近隣（勿論所沢市も含まれる）にも共通と思います。容易ではありませんが、体制整備に向けて、皆様の御協力をお願い致します。

##### (1) 都民向け：

- i) 無理せず休んでください。
- ii) 新型コロナウイルス感染症が心配な方。まず電話で相談を、まず電話です。
- iii) 喫煙者はこの機会にぜひ禁煙を。
- iv) 新型コロナウイルス感染症への対策による要介護高齢者などへの2次被害を考えてください。

##### (2) 東京都医師会会員向け：

- i) 全ての会員はかかりつけ患者からの電話相談に対応を。
- ii) 発熱・呼吸器症状を有する患者を診察する際は、標準的予防策（サージカルマスク、手洗い、必要ならゴーグル、メガネ、手袋）を。
- iii) PCR 検査の検体採取時はPPE着用を（かかりつけ医は原則行わない）
- iv) 過去に診察した患者が PCR 陽性でも、標準的予防策を講じていれば濃厚接触者には該当しないので、医院を休診する必要はない

##### (3) 地区医師会向け：

- i) 発熱・呼吸器症状の患者を診察できる医療機関と診察できない医療機関のリストアップを
- ii) かかりつけ患者からの電話相談は全ての医療機関が対応することが原則だが、診察は上記の「診察できる医療機関」が行うことが分かるよう、住民に周知を。
- iii) 「新型コロナウイルス感染症に対する対策協議会」を地域ごとに立ち上げ、医療連携体制の構築・確認を。
- iv) 会員への迅速な情報周知を。

#### 6. 今後新型コロナウイルス感染症患者が増えた場合の対応について（アンケート調査）

先般のアンケート調査で、各医療機関の窮状が窺われました。患者が増えた場合、各医療機関単体での対応に限界があるのを危惧されていました。会員御自身や職員が感染した場合も休診、自宅待機等、通院なさっている患者様への影響も深刻です。休日当番医・制度検討委員会の委員長である齊藤理事が3月26日に委員会を開催し、委員のお考えを伺いました。現状では発熱患者は少なく、当面は現在の休日当番医制度を維持することで委員の合意が得られました。医療機関発のクラスター形成は回避したいところで、齊藤理事から新型コロナウイルス血清検査（抗体検査）を医師会で購入・備蓄しておき、会員の希望により（例えば、会員が呼吸器症状、発熱がある場合、濃厚接触者指定後の自院再開時）実施してはと提案がありました。岩下先生、小野田理事からは発熱外来設置について御意見がありました。先般のアンケート調査の回収率は低調でしたが、もはや対岸の火事ではありません。会員の皆様の御意見を頂きながら新型コロナ対策の協力体制を構築して行くことが大切です。御協力宜しくお願い申し上げます。

所沢市医師会事務局宛て (返信先：04 - 2995 - 6635)

期限：令和2年4月9日(木)

新型コロナウイルス感染症患者が増えた場合他の対応について(アンケート)

医療機関名：			
1. <u>発熱、呼吸器症状のある患者(掛かりつけ患者を含む)の診察をなさいますか。</u>		はい	いいえ
(1)	対面での診察をなさいますか。	はい	いいえ
(2)	電話のみで対応なさいますか。	はい	いいえ
2. <u>外来診療を行わない医療機関について御認めになりますか。</u>		はい	いいえ
(1)	重症化しやすい者が来院するがんセンター	はい	いいえ
(2)	透析医療機関	はい	いいえ
(3)	産科医療機関	はい	いいえ
(4)	重症者を多数受け入れる見込みのある感染症指定医療機関等	はい	いいえ
(5)	地域の実情に鑑みて医療機能を維持する必要がある医療機関	はい	いいえ
	(5)にはいの場合、具体的な病院名	病院名：	
3. <u>休日当番医の発熱外来の設置を検討すべきですか。</u>		はい	いいえ
(1)	良い場所がございますか。	はい(場所： )	いいえ
(2)	どのタイミングで設置しますか。	自由意見：	
(2)	担当医師は休日当番医の輪番制で良いですか。	はい	いいえ
		自由意見：	
(3)	担当する医師に医師会として特別な配慮が必要ですか(例えば危険手当)	はい	いいえ

4. <u>医師会として新型コロナウイルス血清検査キットを購入・備蓄しておくべきですか（開発は完了していますが、入手できるか検討中）</u>		はい	いいえ
(1)	御利用になる可能性はありますか。	はい	いいえ
4. <u>入院診療体制について、感染症指定医療機関以外の医療機関において、ある程度の感染防護策を講じることができる場合、受け入れ可能と思われますか。</u>		はい	いいえ
(1)	一般床を有する医療機関	はい	いいえ
(2)	療養床を有する医療機関	はい	いいえ
(3)	精神科病床を有する医療機関	はい	いいえ
(4)	特殊疾患病床を有する医療機関	はい	いいえ
(5)	回復期リハビリ病床を有する医療機関	はい	いいえ
(6)	産科病床を有する医療機関	はい	いいえ
5. <u>集中治療を要する重症者を優先的に受け入れる医療機関を設定すべきと思われますか。</u>		はい	いいえ
(1)	この地域ではどの医療機関が適切と思われますか。	自由意見：	
6. <u>基礎疾患等と新型コロナウイルス感染症、両方に対応可能な医療機関を設定すべきですか。</u>		はい	いいえ
(1)	この地域ではどの医療機関が適切と思われますか。	自由意見：	
7. <u>新型コロナウイルス感染症に対する対策協議会を設置すべきですか（現在、所沢市新型コロナウイルス感染症対策本部は設置されていますが、そのメンバーは市役所職員で医師はいません）</u>		はい	いいえ
(1)	設置された場合御協力頂けますか。	はい	いいえ
8. <u>衛生資機材の欠乏状況等</u>			
(1)	マスク残量（補充がない場合）	あと _____ 週でなくなる。	
(2)	擦式アルコール製剤消毒残量（補充がない場合）	あと _____ 週でなくなる。	
9. その他：	自由意見：		

